

基本目標1 生きがいをもって暮らせる地域づくりの推進

施策	施策の展開	主な事業
1 生きがいづくりの支援	(1) 高齢者の多様な活動・居場所の支援 75頁	① シニア世代の起業支援 75頁 ② いきいきシニアセンター (老人福祉センター) 76頁 ③ ゆめクラブ藤沢 (老人クラブ) 76頁 ④ 高齢者福祉大会・高齢者スポーツ大会 77頁 ⑤ 敬老事業 77頁 ⑥ 敬老祝金 78頁 ⑦ いきいきシニアライフ応援事業 78頁 ⑧ 老人憩の家・老人ふれあいの家 79頁
	(2) 生涯学習などの支援 80頁	① 生涯学習人材バンク 「湘南ふじさわ学びネット」 80頁 ② 高齢者を対象とした生涯学習 80頁 ③ 図書館宅配サービス 81頁
2 社会参加活動の支援	(1) ボランティアの育成・支援 82頁	① ふじさわボランティアセンターとの連携 82頁 ② 地区ボランティアセンターへの支援 83頁 ③ いきいきパートナー事業 ※(総) 83頁
	(2) 高齢者の就労・就業支援の促進 84頁	① シルバー人材センターへの支援 84頁 ② 中高年齢者向け就労支援セミナー 84頁
	(3) 地域活動団体への支援 85頁	① 市民自治組織・地域団体への支援 85頁 ② 市民参加型団体等の育成・支援 86頁 ③ 愛の輪福祉基金による活動団体助成 86頁

※ (総)・・・介護予防・日常生活支援総合事業の略

施 策	施策の展開	主 な 事 業
3 地域コミュニティの活性化	(1) 地域交流拠点の推進 87号	① 地域ささえあいセンター ※(総) 87号 ② 地域の縁側 88号
	(2) 地域福祉を支える関係機関等との連携・支援の推進 89号	① 藤沢市社会福祉協議会との連携 89号 ② 地区社会福祉協議会への支援 89号

※(総)・・・介護予防・日常生活支援総合事業の略

施策1 生きがいづくりの支援

超高齢社会を迎え、高齢者のライフスタイルや嗜好が多様化する中、平均寿命も伸び、2019年（令和元年）では、男性が81.41歳、女性が87.45歳となっています。（厚生労働省「令和元年簡易生命表」より。）

「人生100年時代」を見据え、健康で充実した人生を過ごすことができる社会を築いていくことが重要です。高齢者が地域で元気に暮らせるよう、趣味や教養の向上に関する講座の実施やサークル活動の支援を行うとともに、高齢者が気軽に集まり、活動できる場を提供するなど、高齢者の生きがいづくりを推進します。

（1）高齢者の多様な活動・居場所の支援

高齢者が生きがいを持って生活していくためには、趣味や教養の向上に関する講座の実施、サークル活動への支援、地域で活動している団体の周知、高齢者の居場所の提供など、高齢者のライフスタイルやニーズの多様化にマッチした、高齢者の生きがいづくりの機会や地域での活動の場の提供が重要となっています。

「高齢者の保健・福祉に関する調査（2020年調査）」では、約6割強の高齢者が、様々な地域活動への参加を希望し、気軽に集まり、活動できる場の整備や、サークル活動への支援に対する要望も多くあげられています。

高齢者が地域で生きがいを持って暮らせるよう、いきいきシニアセンター（老人福祉センター）や老人憩の家・老人ふれあいの家などの交流・活動の場を提供するとともに、ゆめクラブ藤沢（老人クラブ）をはじめ、シニアに特化した地域活動の情報提供・地域活動に気軽に参加できるようなきっかけづくりなど、様々な活動の支援を行います。

【主な事業】

① シニア世代の起業支援		産業労働課
事業の概要	（公財）湘南産業振興財団等と連携し、シニア世代の起業を支援しています。 ①創業支援資金「キュンとするスタートアップ」を利用するシニア世代に対する金融支援（融資、信用保証料補助、利子補給） ②コミュニティビジネスを行うシニア世代に対する優遇支援 ③シニア世代を含むコミュニティビジネス事業者の事例発表会・ネットワーキングに対する支援	
これまでの取組	国から再認定を受けた創業支援等事業計画に基づき、関係機関と連携して起業支援に取り組んでいます。	
今後の取組	次回の創業支援等事業計画について、国の認定申請を行い、引き続き関係機関と連携し、各事業を進めていきます。	

② いきいきシニアセンター（老人福祉センター） 高齢者支援課

事業の概要	市内の南部・中部・北部それぞれに、湘南なぎさ荘・やすらぎ荘・こぶし荘を設置し、高齢者の生きがいと健康づくりのための拠点施設として、様々な事業を展開しています（指定管理業務）。
これまでの取組	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年(令和2年)3月4日～6月30日まで臨時休館しましたが、施設の一部について、滞在時間及び、利用方法に制限を設けて施設利用を再開しました。 感染防止の対策を十分に取しながら、高齢者の社会参加や生きがいづくりの促進を図っています。
今後の取組	多様化する高齢者のニーズやライフスタイルに即した様々な事業を展開するほか、利用者のボランティア活動への参加を支援し、地域の担い手創出に積極的に取り組むなど、引き続き、地域に根ざした施設運営を実施していきます。 あわせて、地域の縁側や一般介護予防事業で実施する「いきいき運動グループ」など、高齢者の参加が可能な地域資源が拡充しつつあることから、老人福祉センターのあり方や整備について、総合的に検討していきます。

	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
延べ利用者数（人）	291,993	261,550	18,992
延べ事業実施回数（回）	485	468	43

③ ゆめクラブ藤沢（老人クラブ） 高齢者支援課

事業の概要	ゆめクラブ藤沢は、高齢者同士の交流を通じて、生きがいと健康づくりを図るとともに、地域を豊かにする活動に取り組む高齢者の自主的なグループです。高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、藤沢市老人クラブ連合会と連携し、各クラブの活動・運営を支援しています。
これまでの取組	各老人クラブが高齢者の交流の場となるように、藤沢市老人クラブ連合会が実施する様々な事業を支援してきました。 また、会員の高齢化に伴う解散・統合などにより、クラブ数・会員数ともに減少しており、会員の加入促進や活性化に向けた取組を進めています。
今後の取組	藤沢市老人クラブ連合会とのさらなる連携を図り、各クラブの運営や活動の支援を行うとともに、クラブ数・会員数の減少などの課題解決に向けた検討、会員の加入促進に向けた取組などを支援していきます。

	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
クラブ数（クラブ）	138	134	134
加入会員数（人）	6,456	6,369	6,374

④ 高齢者福祉大会・高齢者スポーツ大会 高齢者支援課

事業の概要	高齢者の社会参加と健康増進を目的に、高齢者福祉大会と高齢者スポーツ大会を、藤沢市老人クラブ連合会への委託により実施しています。
これまでの取組	高齢者福祉大会・高齢者スポーツ大会を開催し、高齢者同士の交流や、会員の加入促進、健康増進・介護予防の促進などを図っています。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から両事業ともに中止としました。
今後の取組	高齢者の生きがいづくりと社会参加を支援するとともに、クラブ活動の活発化、高齢者同士の交流、会員の加入促進、健康増進・介護予防を図るため、引き続き実施していきます。また、高齢者のニーズの把握に努め、事業内容などについて検討していきます。

	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
福祉大会参加者数 (人)	877	842	-
スポーツ大会参加者数 (人)	295	276	-

⑤ 敬老事業 高齢者支援課

事業の概要	高齢者の健康と長寿を祝うため、市内各地区において敬老事業を開催しています。
これまでの取組	83歳以上の高齢者を対象に、9月に各地区社会福祉協議会との共催で敬老会事業を開催していましたが、対象者に対する参加率の低さなどを踏まえ、敬老事業の見直しを行い、令和2年度から、各地区社会福祉協議会へ補助金を交付し、各地区の実情に応じた敬老事業を実施するための補助事業へ変更しました。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としました。
今後の取組	長年、社会に貢献された高齢者に敬愛の意を表し、健康と長寿をお祝いするため、事業を実施していきます。 また、見直し内容が適正であるか引き続き検討していきます。

	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
対象者数 (人)	20,621	20,498	23,310
参加者数 (人)	2,972	3,030	-

⑥ 敬老祝金 高齢者支援課

事業の概要	高齢者の健康と長寿を祝うため、敬老祝金の贈呈を行っています。 ①90歳（卒寿）の人への敬老祝金の贈呈 ②100歳（百寿）の人への市長訪問による祝金と花束などの贈呈〔百歳訪問〕
これまでの取組	高齢化の進展に伴う対象者の増加などを踏まえ、敬老祝金事業の見直しを行い、平成29年度から、80歳の人への祝金の贈呈を廃止しました。
今後の取組	長年、社会の発展に貢献された高齢者を敬愛し、健康と長寿をお祝いするため、引き続き、事業を実施していきます。また、今後も対象者の増加が見込まれることから、他市の敬老祝金品等の贈呈の実施状況などを考慮し、事業内容について見直しを行います。

	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
＜敬老祝金贈呈＞			
贈呈者数90歳（人）	1,238	1,219	1,360
＜百歳訪問＞			
訪問者数 (贈呈者数)（人）	76	104	98

⑦ いきいきシニアライフ応援事業 高齢者支援課

事業の概要	シニア世代が「生きがい」を感じるとともに、地域に貢献し、いきいきと充実したシニアライフを送ることができるように、シニア世代に特化した地域活動などの情報を提供し、地域活動などに気軽に参加できるようなきっかけづくりを行っています。
これまでの取組	2014年（平成26年）10月の事業開始から2020年（令和2年）2月までに、地域活動見本市を計11回開催し、地域で活動する市民活動団体が活動内容の展示や説明を行い、情報収集の機会を提供しました。また、シニア世代向け情報サイトにおいて、地域活動などの情報を提供するとともに、インターネットを利用しない人のために、シニア世代向け情報誌を年4回発行しています。
今後の取組	シニア世代が地域活動などに気軽に参加できるよう、地域活動などの情報を提供するなど、きっかけづくりを支援します。 また、新型コロナウイルス感染症拡大により、地域活動の在り方も変化している中で、よりシニア世代が地域活動に取り組めるような支援も検討していきます。

	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
地域活動見本市 来場者数（人）	822	1,266	—	1,090	1,220	1,370

⑧ 老人憩の家・老人ふれあいの家

高齢者支援課

事業の概要	<p>高齢者の教養の向上、レクリエーションなどの場の提供や、高齢者と次世代との交流の促進を目的に、老人憩の家（善行・長後）、老人ふれあいの家（御所見）を設置しています。</p> <p>なお、御所見老人ふれあいの家は、2011年（平成23年）に中里子どもの家と合築し、世代間交流を図っています。</p>
これまでの取組	<p>高齢者の活動の場を提供し、高齢者間の交流や生きがいづくり・社会参加を促進しています。また、御所見老人ふれあいの家では、ユースデイなどの世代間交流事業の実施により、地域の子供たちとの交流が図られています。</p>
今後の取組	<p>施設の老朽化が進んでいるため、必要な修繕を行い、利用しやすい環境や安全の確保に努めます。また、高齢者が、同世代や次世代と交流する場の提供、生きがいづくりを通して、社会参加の促進を図っていきます。</p>

	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
＜善行老人憩の家＞			
延べ利用件数（件）	382	337	31
延べ利用者数（人）	5,369	4,783	359
＜長後老人憩の家＞			
延べ利用件数（件）	234	233	28
延べ利用者数（人）	3,294	3,107	283
＜御所見老人ふれあいの家＞			
延べ利用件数（件）	398	328	49
延べ利用者数（人）	5,775	5,021	410

(2) 生涯学習などの支援

生涯学習は、自らの興味や関心に基づき行われる自主的な活動であり、高齢者の生きがいや生活を豊かにするとともに、身につけた知識や経験を地域活動に生かすことで、地域社会の活性化や発展につながります。

高齢者が年齢や性別にとらわれることなく、生きがいを持ち、豊かな高齢期を過ごすことができるよう、学びを通じた人と地域のつながりを推進するとともに、生涯にわたって学習活動に取り組めるよう支援します。

【主な事業】

① 生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」 生涯学習総務課

事業の概要	様々な分野で豊富な知識や優れた技術を持つ人が、市民講師として登録し、地域の様々な生涯学習の場で活躍する機会を提供するとともに、市民が生涯にわたり学びたいことが学べるよう、学習のきっかけづくりを支援しています。
これまでの取組	積極的な生涯学習情報提供や、登録者を活用した事業等を行うことで、福祉施設や公民館、庁内各課をはじめ、地域における学習活動の支援と、学習成果の還元を行いました。 人材バンク登録件数：（個人）254人、（団体）42団体
今後の取組	人材バンク制度の利用促進を図るため、講師情報の拡充を図るとともに、市民講師を地域人材として育成していくため、「生涯学習活動推進室」において市民講師や事業の参加者、公民館や他機関等とのネットワークを構築し、講師が主体的に活動できる場の創出に向けて、検討を進めていきます。

	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
登録件数 (件)	282	296	300 (計画値)	310	320	330
利用件数 (件)	109	129	140 (計画値)	150	160	170

※2020年（令和2年）3月末時点の実績。

② 高齢者を対象とした生涯学習 生涯学習総務課

事業の概要	公民館において、高齢者を対象とした各種事業を実施しています。
これまでの取組	豊かな知識や技術を生かし、高齢者が主体的に学習できる様々な事業を実施しました。 高齢者対象事業：45事業（参加者延べ20,984人）
今後の取組	高齢者の主体的な学習を推進し、地域を中心とした仲間づくりや生きがいづくりにつながる、多様な学習機会の提供を行っていきます。

	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
公民館事業 (件)	42	45	48 (計画値)	51	54	57

※2020年（令和2年）3月末時点の実績。

③ 図書館宅配サービス 総合市民図書館

事業の概要	図書館・図書室に来館・来室することが困難な高齢者や障がいのある人に対し、宅配ボランティアの協力により、図書館資料を宅配しています。
これまでの取組	広報や館内ポスター等の周知を通じて、利用者やボランティアの申し込みがありますが、地域的な偏りがあることから引き続き幅広い募集を行っていく必要があります。 4つの図書館それぞれでボランティアの交流会を開催し、活発な意見交換を行うことができました。
今後の取組	利用者・ボランティアの地域的な偏りの解消をめざし、積極的な広報を行っていきます。 利用者からの意見や、定期的に開催しているボランティア交流会で出た意見を汲み上げ、より満足度の高いサービスを実現させていきます。 また、今後は新型コロナウイルス感染症の拡大を防止したボランティア活動のため、より一層の対策を講じていく必要があります。

	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
延べ利用者数 (人)	2,006	1,884	840
貸出資料件数 (件)	7,946	7,711	3,524

施策2

社会参加活動の支援

現在、高齢者の中でも団塊の世代が、後期高齢者となる2025年（令和7年）を見据え、元気な高齢者が増加することに伴い、健康や生きがいづくり、社会参加施策の重要性がより一層高まり、高齢者自らが地域を「支える側」として、活躍していくことが期待されます。

こうした状況から、高齢者自らが「人生100年時代」のライフデザインを考えていくとともに、働き方や社会参加の促進、ボランティアの育成及び地域団体等への活動支援を通して、高齢者が参加しやすく、高齢者個人の活躍を支えていく地域社会づくりを推進します。

(1) ボランティアの育成・支援

超高齢社会を迎えた中、元気な高齢者が増加するとともに、日常生活において支えの必要な高齢者も増加することが予想され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるためには、支えの必要な高齢者を地域で支える多様な担い手が必要であり、地域で互いに支えあう「互助」の仕組みづくりが重要となっています。

その一つとして、元気な高齢者がこれまで培った経験と知識を生かし、地域を「支える側」として活躍することで、やりがいを感じるができるよう、ふじさわボランティアセンターをはじめとする関係機関・関係各課と連携し、ボランティアの育成や活動の支援を図ります。

【主な事業】

① ふじさわボランティアセンターとの連携		福祉総務課	
事業の概要	ボランティア活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介などを行っている「ふじさわボランティアセンター」（藤沢市社会福祉協議会が運営）と連携して、ボランティアの育成・支援を実施しています。		
これまでの取組	藤沢市社会福祉協議会によるボランティア活動に関する相談・情報提供・マッチングや各種ボランティア養成講座等の継続実施により、ボランティア活動のきっかけづくりが行われ、ボランティア活動に携わる登録者数は継続して増加しています。 新型コロナウイルス感染症拡大防止を視野に入れた新しい生活様式に鑑みた、ボランティア活動の在り方やマッチングの仕組みを検討する必要があります。		
今後の取組	福祉的支援を必要とする人の状況を正しく理解し、社会や地域に貢献する意識を高めることを目的として、藤沢市社会福祉協議会による研修等を継続するとともに、新しいボランティア活動の在り方を学ぶ事業や仕組みづくりを行っていきます。また、地域福祉の担い手としてのボランティアの養成を行うとともに、地域福祉プラザが支援する当事者会等とのマッチングをコーディネートしながら、市民のボランティア活動への参加を支援していきます。		
	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
ボランティア登録者数 (人)	5,476	5,675	5,277

② 地区ボランティアセンターへの支援 地域共生社会推進室

事業の概要	地域におけるボランティア活動を推進する地区ボランティアセンターの設置・運営を支援することで、相互扶助機能の向上とボランティアのネットワークづくりを図っています。
これまでの取組	市内12地区に開設されている地区ボランティアセンターの運営にかかる費用について支援しています。
今後の取組	地域における高齢者が必要としている「ちょっとした手伝い」に着目し、地域の団体との意見交換を行い、各地区でのボランティア活動の推進を図っていきます。

	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
設置箇所数 (カ所)	12	12	12	12	12	13

③ いきいきパートナー事業 地域共生社会推進室

事業の概要	高齢者が、指定の施設でボランティア活動を実施した際にポイントを付与し、累計ポイント数に応じて年間で最大5,000円の支援金を支給します。
これまでの取組	ボランティア活動を通して、高齢者の健康維持と社会参加の促進を図るとともに、介護保険施設等が地域社会との交流を深め、施設入所者がより豊かな時間を過ごせるように、事業を実施しました。 課題としては、ボランティア登録者に対しての継続的なフォローアップを行う必要性があります。
今後の取組	ボランティア活動への積極的な参加を促し、高齢者の経験や能力を生かした社会参加と活動機会の提供により、高齢者の介護予防の推進を図り、ボランティア活動の内容や対象者の拡大などについて、検討を行っていきます。

	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
ボランティア登録者数 (人)	729	730	730	850	970	1,090
受け入れ施設数 (施設)	114	120	120	126	132	138

(2) 高齢者の就労・就業支援の促進

平均寿命が延伸する中、働く意欲のある高齢者がこれまで培った知識や経験を活かし、一人ひとりが生涯にわたり、輝き続けることができる活躍の場が重要となっています。

これまでの60歳定年、定年後は余生といった時代は過ぎ去り、これからは、生涯現役で活躍できる「人生100年時代」への突入が想定されることから、高齢者が就労・就業を通じて地域社会と関わりながら、豊かな高齢期を過ごせるように支援します。

【主な事業】

① シルバー人材センターへの支援				高齢者支援課		
事業の概要	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、(公財)藤沢市まちづくり協会が設置したシルバー人材センターの活動を支援することで、高齢者の就業による社会参加の促進を図っています。					
これまでの取組	シルバー人材センターにおいて、高齢者の希望に応じた就業機会を幅広く確保・提供するとともに、就労に必要な知識及び技能の向上に努め、生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進を図っています。					
今後の取組	高齢者が元気でいきいきと暮らせるまちづくりの推進として、高齢者の豊富な経験・知識・技能を活用した働く機会の提供及び社会参加を促進するため、会員が希望する職種に就業できるよう引き続きシルバー人材センターへの支援を行っていきます。					
	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
登録会員数 (人)	2,612	2,476	2,465	2,486	2,723	2,776
実就業者数 (人)	1,008	1,006	882	1,100	1,100	1,100
受託件数 (件)	6,295	6,334	577	6,400	6,500	6,600

② 中高年齢者向け就労支援セミナー				産業労働課		
事業の概要	キャリアを生かした再就職・転職を希望している人や定年後を見据えた働き方を考えたい人などを支援する中高年齢者向けの就労支援セミナーを実施しています。					
これまでの取組	令和元年度から藤沢公民館・労働会館等複合施設の指定管理事業の一つとして中高年向け就労支援セミナーを年2回程度開催しています。					
今後の取組	課題として、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三密回避対策・規模の縮小などの対応が必要となっていることから、より多くの人に参加できるよう、オンラインでのセミナー開催など様々な手法を検討しながら、引き続き事業を実施していきます。					
	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
実施回数 (回)	2	2	2			

(3) 地域活動団体への支援

市民同士や地域とのつながりが希薄化する中、誰もがができる限り住み慣れた地域で元気に暮らすためには、互いに支えあう地域づくりが重要であり、主体的・積極的に活動する団体が地域で果たす役割は、ますます重要になっています。しかし、多くの活動団体では、担い手の高齢化や活動場所の確保などの課題を抱えています。

こうした状況から、地域で活動する様々な団体が継続的に活動できるよう支援し、活動の活性化を図ることで、高齢者が主体的に地域社会とつながることができる地域づくりを推進します。

【主な事業】

① 市民自治組織・地域団体への支援		市民自治推進課
事業の概要	社会福祉、生活環境、交通安全、青少年育成、防犯、防災などの地域課題の解決を図っている自治会・町内会等の活動に対する様々な支援を行っています。	
これまでの取組	自治会・町内会の活動支援として市民組織交付金の交付や自治会長のつどい、出張講座を実施しました。また、令和2年度から自治会・町内会加入案内リーフレットの内容を見直し改訂しましたが、役員の担い手不足など従来からの課題は依然として残り、加えてコロナ禍での自治会活動の在り方など、新たな課題への支援も検討していく必要があります。	
今後の取組	日頃から受ける相談をもとに、自治会・町内会の役割のスリム化と地域コミュニティの活性化の両立を踏まえ、昨今の災害や感染症に対する懸念が深刻化する中での新たな地域課題の洗い出しをし、真に必要とされる支援の在り方を検討していきます。	

	実績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
市民組織 (自治会・町内会) 団体数 (団体)	476	477	478
地域コミュニティ拠点施設整備支援事業補助件数 (件)	6	5	2
認可地縁団体数 (団体)	32	32	32

② 市民参加型団体等の育成・支援 市民自治推進課

事業の概要	藤沢市市民活動推進計画の基本施策を総合的・計画的に推進し、市民参加型団体等の育成・支援を行っています。 ①市民活動への参画促進 ②市民活動を支援する体制の充実強化 ③多様な市民活動の創出
これまでの取組	市民活動団体が高齢化しているため、市民活動の新たな担い手の獲得が必要と考えています。また、地域住民のニーズをとらえた、地域課題の解決に取り組む人材育成事業の実施の必要性もあります。ただし、これらの事業を推進することに対しては常に新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じることが求められます。
今後の取組	地域人材の掘り起こしのため、アウトリーチ型の人材育成事業の内容を見直していきます。また講座等の事業を開催する際は、オンライン講座に置き換えるなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した取組に変更をしていきたいと考えています。

	実 績		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)
市民活動推進センター登録団体数 (団体)	474	449	450

③ 愛の輪福祉基金による活動団体助成 福祉総務課

事業の概要	福祉施設や地域福祉活動への支援などを目的として、1984年（昭和59年）に愛の輪福祉基金を設け、活動団体を助成しています。
これまでの取組	令和2年度から、民間福祉団体やボランティア団体がより活用しやすいように制度を見直しました。門戸を広げ、提出方法などの簡素化を図ることで、申請団体の増加を試みています。
今後の取組	改正した制度で引き続き事業を実施していきます。また、より活用しやすい制度とするために、適宜制度の見直しを行います。

	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
助成事業数 (件)	196	186	94	190	190	190

施策3 地域コミュニティの活性化

超高齢社会・核家族化の進展、社会情勢の変化などに伴い、地域におけるコミュニティが希薄化する中、複雑な事情を抱えながらも相談する相手がなく、孤立してしまう状況を防ぐためにも、日頃からの声かけなど地域内におけるつながりの強化や身近に心のよりどころとなるような場を確保し、人の和を広げ、互いの暮らしを協力して支えあう仕組みづくりが重要となっています。高齢者同士・多世代と交流できる機会の提供、介護予防、日常生活の相談・支援などにより、地域コミュニティの活性化を図り、元気に暮らせる地域づくりを推進します。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じ、安全に利用できる場の提供と、ICTを活用するなどの新しい生活様式をふまえたコミュニティのあり方を検討します。

(1) 地域交流拠点の推進

超高齢社会の進展やひとり暮らし高齢者の増加などに伴い、地域コミュニティが希薄化する中、人と人とのつながりを持ち、孤立化・孤独化を防ぐためにも、高齢者等が気軽に立ち寄り、地域で交流できる身近な場の確保は重要です。

「人生100年時代」を見据え、誰もが安心して元気に暮らせる地域づくりをめざし、地域等と連携・協力して、高齢者等の生活支援や生きがいづくり・介護予防など地域で交流できる拠点施設の整備を進めます。

【主な事業】

① 地域ささえあいセンター				地域共生社会推進室		
事業の概要	高齢者等が気軽に立ち寄ることのできる場の提供、各種相談、介護予防に関する講座、多世代交流などの事業を実施する「地域ささえあいセンター」の運営団体に対して支援を行います。 また、各施設に、生活支援コーディネーターを配置し、生活支援等サービスの充実に取り組んでいます。					
これまでの取組	藤沢、長後、村岡、明治の4地区に、「地域の縁側」の「基幹型」として整備されています。					
今後の取組	地域の縁側の「基幹型」としての役割と、生活支援コーディネーターが配置されている特徴を生かし、協議体等を活用しながら、地域共生社会における拠点としての機能を強化していきます。 また、地域の多様な主体と連携し、ACPや介護予防の普及啓発を目的とした「人生会議」を地域で実施していきます。					
	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
設置箇所数 (カ所)	4	4	4	4	4	4
スケジュール	検証	整備方針の検討		居場所事業の整理		

② 地域の縁側 地域共生社会推進室

事業の概要	人と人とのつながりを強め、暮らしやすさを高めることを目的に、多様な地域住民が気軽に立ち寄り、集まりやすい身近な場を「地域の縁側」と位置づけ、事業実施団体を支援しています。 一般的に言われている介護予防事業の「高齢者の通いの場」の趣旨の一つでもあります。
これまでの取組	2020年（令和2年）4月1日現在、各地区1カ所以上、市内37カ所（基本型25カ所、特定型8カ所、基幹型4カ所）で地域の縁側を実施しています。 現状の課題としては、一度審査会にて事業決定した団体は次年度以降に書面による審査及び居場所事業の研修会等を行っていますが、なかなか情報共有がなされず、事業者間の居場所事業としての格差が生じてしまうことです。
今後の取組	引き続き実施団体の募集を行うとともに、藤沢型地域包括ケアシステムの視点で、居場所事業としての課題整理を行います。また、実施団体とのヒアリングや事業者間の情報共有を積極的に行うなど、地域の縁側事業の課題整理を行っていきます。

	実 績			計 画 期 間		
	2018年度 (H30)	2019年度 (R元)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)
実施箇所数 (カ所)	35	35	37	居場所事業としての課題整理		
実利用者数 (人)	79,099	72,753	9,791			

(2) 地域福祉を支える関係機関等との連携・支援の推進

「人生100年時代」を支える地域づくりを進めるためには、高齢者やその家族からの様々な相談に対して的確に応えられるよう、関係機関との連携や支援体制が重要です。

「人生100年時代」を見据え、地域コミュニティの活性化を図るためにも、地域福祉を支える関係機関等との連携による地域社会づくりに対する支援体制を推進します。

〔主な事業〕

① 藤沢市社会福祉協議会との連携		福祉総務課
事業の概要	地域住民や様々な関係機関・団体の参加と協力のもと、福祉サービスの提供や相談支援などを行っている藤沢市社会福祉協議会と連携し、地域の実情に応じた地域福祉を推進しています。	
これまでの取組	2020年（令和2年）1月から藤沢市社会福祉協議会を市役所分庁舎に移転するとともに、その1階及び2階に設置する地域福祉プラザの運営にあたり、藤沢市社会福祉協議会と連携した取組を進めています。地域福祉プラザを拠点とした、各種の地域福祉を担う団体の連携に向けた仕組みづくりを具体化していく必要があります。 コミュニティソーシャルワーカーの全地区配置に伴い、相談支援体制の強化が図られました。その結果として、保護司や学校等からの複雑な相談が増え、課題解決に向けた取組が必要となっています。	
今後の取組	藤沢市社会福祉協議会と連携し、地域共生社会の実現をめざします。地域の相談支援体制の拡充や地域福祉プラザの運営を通じて、利用する当事者や地域活動の担い手等への支援を行う中で、地域福祉の推進に取り組んでいきます。	

② 地区社会福祉協議会への支援		福祉総務課
事業の概要	地域力を向上し、地域福祉の推進を図るため、自治会・町内会や民生委員・児童委員等の地域の福祉関係者により、市内13地区に組織された地区社会福祉協議会への支援を行います。	
これまでの取組	市内13地区の実情に応じた地区社会福祉協議会が実施する福祉事業に対して、藤沢市社会福祉協議会を通じて補助金を交付するなど、継続的な支援を実施しています。一方で、新しい生活様式に鑑みた、新しい事業の在り方を検討する必要があります。また、地域福祉の推進にあたって、福祉事業の実施だけでなく、地域生活課題を解決するための地域資源の発掘や関係機関等との連携に向けた取組の重要性も増していることから、事業の在り方の見直しの中で、それらの取組につながるような検討が必要となっています。	
今後の取組	地域共生社会の実現をめざし、地区社会福祉協議会が各地域の実情に応じた福祉事業を実施する中で、地域資源の発掘や関係機関等とのつながりが充実できるように、藤沢市社会福祉協議会と連携し、支援を継続していきます。	